新潟市スポーツ施設の未来構想会議 資料

吹田サッカースタジアム

FLAT HACHINOHE

長崎スタジアムシティプロジェクト

"寄付でつくられたサッカー専用スタジアム"

"民間がつくり公共が借りるアリーナ"

"スポーツ×ビジネス 民間による地域創生"







敷地74,762㎡ 延床176,346㎡

スタジアム20,000 アリーナ5,000

あり

VIPルーム あり(ホテル客室兼用)

駐車場など

商業施設、オフィス、ホテル

施設概要

面積 観客席

付帯施設

整備方法

敷地90,065㎡ 延床63,909㎡ 39,694 VIPルーム あり

飲食販売・レストラン 飲食・物販 グッズショップ

その他 パーティー、ウェディング

スタジアムツアー

ホームチーム ガンバ大坂(J1)

面 積 敷地15,000㎡ 延床7,200㎡ 観客席 固定席1,550 最大収容力5,000 付帯施設 VIPルーム あり

飲食・物販 設置可能(常設は無し) その他 劇場型照明(センタービジョン) プロジェクションマッピング

ホームチーム 東北フリーブレイズ (アイスホッケー)

青森ワッツ(B2)

面積

観客席

付帯施設

ホームチーム V・ファーレン長崎(J2) 長崎ヴェルガ(B3)

その他

飲食・物販

事業概要

事業スキーム 大阪府の土地を貸借し、スタジアム建設 事業スキーム

募金団体が建設し、竣工日に同団体が 吹田市に寄付、ガンバ大阪が指定管理者

として運営・管理。

事業主体 スタジアム建設募金団体、 株式会社ガンバ大阪

土地 大阪府 建物 吹田市 所有者

寄付を主たる財源とし、募金団体主導で 管理運営方法

管理運営方法 株式会社ガンバ大阪が指定管理者の指定

を受けて管理運営

行政の役割支援 長期の指定管理期間(約48年)、

土地の貸与(有償)、周辺インフラ整備

民間企業が市有地を無償貸借し、自らの

資金調達で興行用アリーナを整備・管理 運営。市は年間2,500hの利用枠を30年間

にわたり借受け。

所有者

クロススポーツマーケティング(株) 事業主体 土地 八戸市 建物 XSM FLAT八戸(株) XSM FLAT八戸が独自に資金調達して整備 整備方法 ゼビオグループの XSM FLAT八戸が施設を

所有し、クロススポーツマーケティングが

施設の運営・営業を行う

行政の役割支援 土地の貸与(無償)、年間2.500時間の

公共利用枠を借受ける対価として、 年間1億円×30年間の使用料を支払う

㈱ジャパネットホールディングスが施工整備、十地建 事業スキーム

物を所有。同社のグループ会社が維持管・

運営を行う。

事業主体 (株) ジャパネットホールディングス

(株) リージョナルクリエーション長崎

所有者 土地建物(株ジャパネットホールディングス ㈱ジャパネットホールディングスが民間事業で整備 整備方法 (株) リージョナルクリエーション長崎が 管理運営方法

維持管理・運営を行う

行政の役割支援 民間都市再生事業の認定事業、協議会や

検討推進チームを組成してプロジェクトを

サポート

ポイント

○建設費だけでなく、ランニングコスト(大規模修繕費の 積立を含む)も市の負担ゼロ。

○利用料金から運営・管理費を捻出。利用料金には広告用 看板・ネーミングライツを含む。

○公共利用枠は稼働率の低い平日昼間に充て、学校体育や行 政イベント、市民等で共有利用。

○アイスリンクをベースとしながら、断熱付フロアを敷設す ることにより、アリーナスポーツやコンサート・コンベ ンションも開催可能。

〇機能的で魅力的であることを追求。

○長崎駅から徒歩10分のまちなかスタジアム・アリーナ。 ○スタジアム・アリーナ・商業施設・ホテル・オフィス等を備 える複合施設であり、収益確保の方策を具体的に検討。

○スタジアム整備による地域課題の解決(雇用・集客・地域活 性) など周辺地域へもたらす経済的・社会的効果を検討。